

作家・伊坂幸太郎氏「第 46 回トロント国際作家祭トロント国際作家祭」 において北米初訪問

～10 月 29 日から 4 日間滞在、カナダの読者に向けてトークイベントも開催～

国際交流基金（JF）トロント日本文化センターは、作家の伊坂幸太郎氏をトロント国際作家祭（Toronto International Festival of Authors、通称 TIFA）へ招へいします。本プロジェクトは TIFA、University of Toronto, Cheng Yu Tung East Asian Library との共催で、2025 年 10 月 29 日に映画上映会、10 月 30 日、11 月 1 日にトークイベントとサイン会を実施します。

TIFA は、今年で 46 回目の歴史を誇る世界でも有数の国際作家祭です。JF トロント日本文化センターは日本人作家を長年招へいしています。今年は作家デビュー 25 周年を迎える伊坂氏を招へいすることになりました。伊坂氏の作品は 20 以上の言語で翻訳されており、世界中で大変な人気を誇っています。伊坂氏にとって、今回が初めての北米でのイベント参加となります。

伊坂氏は 1971 年千葉県生まれ。1995 年東北大学法学部卒業。2000 年『オーデュボンの祈り』で新潮ミステリー倶楽部賞を受賞し、デビュー。2004 年『アヒルと鴨のコインロッカー』で吉川英治文学新人賞、2008 年『ゴールデンランバー』で本屋大賞と山本周五郎賞、2014 年『マリアビートル』で大学読書人大賞、2017 年『AX』で静岡書店大賞（小説部門）、2020 年『逆ソクラテス』で柴田錬三郎賞を受賞。今回の北米訪問直前の 10 月 22 日には、長編ミステリー『さよならジャバウォック』が発売予定で、精力的な創作活動を続けています。

数多くの作品の中でも、『マリアビートル』は 2022 年に『ブレット・トレイン（英題：Bullet Train）』としてブラッド・ピット、真田広之といった豪華キャストで映画化。2 週連続で全米興行収入ランキング 1 位になるなど大きな話題を呼びました。10 月 29 日には同作を上映し、伊坂氏も登壇する予定です。

今回の訪問は、日本の小説が海外のファンたちにどのように受け止められているかを知る好機会で、伊坂氏がカナダの読者の熱い期待に応えます。



©Munemasa Takahashi

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部広報課（担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

記

事業名称・日時・会場：

Bullet Train (映画上映会)

2025 年 10 月 29 日 (水) 18 時 45 分～21 時
イニス・タウン・ホール (トロント大学 イニス・カレッジ)
2 Sussex Ave, Toronto, ON, Canada

Crafting Twists and Thrills: A conversation with author ISAKA Kotaro

2025 年 10 月 30 日 (木) 18 時～19 時 30 分
国際交流基金トロント日本文化センター
2 Bloor St. East, Suite 300, Toronto, ON, Canada

Kotaro Isaka: Hotel Lucky Seven (トロント国際作家祭登壇イベント)

2025 年 11 月 1 日 (土) 15 時 30 分～16 時 30 分
イザベル・バイダー・シアター (トロント大学 ビクトリア・カレッジ)
93 Charles St W, Toronto, ON, Canada
<https://festivalofauthors.ca/book-author/kotaro-isaka/>

共 催： 国際交流基金トロント日本文化センター、Toronto International Festival of Authors、
University of Toronto, Cheng Yu Tung East Asian Library

独立行政法人国際交流基金 (The Japan Foundation) <https://www.jpff.go.jp/>



国際交流基金 (JF) は、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。1972 年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003 年 10 月 1 日に独立行政法人となりました。「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ」をミッションに、「文化」と「言語」と「対話」を通じて日本と世界をつなぐ場をつくり、人々の間に共感や信頼、好意を育んでいきます。

国際交流基金には、本部 (東京) のほか、世界 25 か国 26 拠点と国内に 2 つの附属機関 (日本語国際センター、関西国際センター) と 1 つの支部 (京都) があります。

国際交流基金トロント日本文化センター (The Japan Foundation, Toronto) <https://tr.jpff.go.jp/>

国際交流基金のトロント事務所は 1990 年 11 月に設立され、1995 年 4 月に日本文化センターとなりました。公共スペースとして、図書館、セミナールーム、展示スペースやイベントホールがあります。図書館には日本関連の書籍や視聴覚資料、約 2 万点を所蔵しています。施設では美術展、映画上映会、講演会などのイベントを年間を通じて開催しており、日本とカナダの文化交流のハブとしてトロント市民に親しまれています。このほかオンラインの活用や各地団体との協力により、広いカナダ全土に向けて国際交流基金の掲げる「文化」「言語」「対話」の発信や場づくりに取り組んでいます。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部広報課 (担当：熊倉、福島)
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044
E-mail: press@jpff.go.jp

Toronto International Festival of Authors (トロント国際作家祭) <https://festivalofauthors.ca/>



毎年世界数十か国から 200 名の作家が参加し、2 週間のフェスティバル期間中 20,000 人が来場する世界でも有数の国際作家祭です。日本人作家も 1985 年以降ほぼ毎年招待を受けており、初の日本人登壇者は大江健三郎氏に始まり、これまでに 30 名の日本が誇る作家の方々が招待されています。

University of Toronto, Cheng Yu Tung East Asian Library <https://east.library.utoronto.ca/>
(10 月 29 日、10 月 30 日イベントの共催)



UNIVERSITY OF TORONTO
LIBRARIES

CHENG YU TUNG EAST ASIAN LIBRARY

トロント大学でアジア言語の資料を所蔵する特別図書館です。日本語資料の所蔵数は約 20 万点に上り、東アジア研究コミュニティに貢献しています。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部広報課 (担当：熊倉、福島)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp